

1. 六甲道駅の状況



駅舎・高架ともに大きな打撃を受けたのが六甲道駅付近で、この区間が不通区間として最後まで残りました。

駅北側から撮影。

かろうじて神戸寄りの上りホームが残っている。



駅南側から撮影。

震度7の激震が襲った高架駅は見る影もない。一部の使える路盤部分を有効に生かしながらの再建工事となった。

メイン六甲ビルも多くのガラスが割れ。撮影していた公団住宅も取り壊しとなった。



メイン六甲ビル東側から撮影

解体再建中の駅舎部分だけ突然高架がなくなっているようにも見える。

メイン六甲ビルも傾いているように見える。



駅の東側

高架のズレやいがみが大きく、高架下の倉庫・事務所等を撤去し、道

路も1車線を借りての復旧作業が続いた。

2. 住吉 - 六甲道間の状況

大きく高架の壊れたこの区間。開通まで相当の時間が予想されたが、連日徹夜にわたる懸命の復旧工事で、4月初めに開通することができた。

